


未来を守るために

桜美林から続く



支援プロジェクト第2弾
「学業継続奨学金」
ご報告書

卒業生の強い思いから生まれた
オールオベリン未来ファンド
All Oberlin Future Fund

 桜美林学園

この度は、桜美林学園の生徒・学生の未来を支える「オールオベリン未来ファンド」へのご出資を賜り、誠に有難うございます。

今般、皆さまからのご厚志に基づき、支援プロジェクト第2弾として、春学期に引き続き、桜美林大学生向けの「学業継続奨学金」を支給させて頂きましたので、以下にご報告致します。

支援プロジェクト第2弾「学業継続奨学金」概要

奨学金の目的

新型コロナウイルス感染症拡大による家計急変を理由として学費延納を申請した学生を経済的に支援し、経済的な理由による学業の断念を防ぐ。

応募資格

以下の条件を全て満たすこと

- ・2020年度秋学期の学納金延納を申請
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により家計が急変
- ・本学の他の奨学金を受給していない
- ・大学で学ぶ意欲が強い

支給金額

- ・給付型30万円×30名
- ・貸与型30万円×10名（返済は卒業後）

※以下の理由で貸与を含める

- 1.貸与型を含めることにより、限りある財源を有効活用できる
- 2.返済＝原資の保全、および将来的なファンドの担い手になることを期待＝循環型

※春学期は給付20人、貸与20人の枠を設けたが、貸与希望の学生が少なかったため、定員に満たなかったことを考慮して上記人数とした。

※春学期の受給学生は貸与型のみ応募可能

※学内外の奨学金を受給していない学生を優先

(※) 今回の奨学金の用途を学納金に限定するため、学納金の「減免方式」で実施。減免とは、学生が払うべき学納金（学校に納める必要のあるお金）から奨学金分の30万円を「減免」して学生に請求し、その減免分にファンドからの資金を充当する方式。



提出書類

1. 課題

「学生の未来を支える」という本ファンドの趣旨を鑑み、本支援を、真に学生の未来を支えるものにするため、事前の課題によって学業継続への動機を確認（下記ご参照）。

2. 成績証明

未来のために努力しているかどうかを確認するための手段として、学業に対する取り組み姿勢も確認。また、単に現状のGPAで判断するのではなく、上昇傾向なのか、下降傾向なのかも判断基準とした。

3. 収入証明

保護者など家計の担い手または本人の収入の証明書で、収入の減少を確認。

4. 意思確認書

本ファンドの趣旨の一つである「オベリンナーによるオベリンナーのためのファンド」の実現のため、ファンド運営に協力する意思があるか？また将来もファンドの担い手＝出資者になる意思があるか？を確認。

課題内容

- ①学業継続の先にある目標について
- ②就学意欲について
- ③あなたにとっての学生生活の充実とはどのようなことを指しますか？
- ④社会貢献と生きる力を養うためにどう行動したいですか？

※本支援を受けることで、自分の未来がどう変わっていくかをイメージしてもらうこと。
 また将来どのように社会と本ファンドに貢献するか考えてもらうことを念頭に課題を作成。
 ※学生の自由な発想を生かすため、課題の文字数や回答方法はあえて指示せず、回答例も示さなかった。



実施スケジュール

9/30～11/19

告知
(学納金延納申請者に個別に告知)

12/1～12/4

書類選考

12/14

採用発表

1/8以降

アンケート
(全員)
インタビュー
(数名)

募集期間
(必要書類、課題の提出)

11/19～11/27
応募数：37名

面接(Zoom)
最終選考
(選考委員会
運営検討)

12/12

書類発送

12/15～12/17



選考方法

①書類選考

②面接（面接官2名に対し学生1名、面接時間は10分）

※①②を以下の評価シートに基づいて点数化する

書類 審査	【質問1】学業継続の先にある目標について教えてください。		低い			高い	採点	(重要な質問は点数を2倍)	点数	備考
	質問1-1	目標設定が適切であるか。	①	②	③	④		×2		
	質問1-2	具体的な理由付けがあるか。	①	②	③	④				
	【質問2】修学意欲について教えてください。		低い			高い	採点	(重要な質問は点数を2倍)	点数	
	質問2-1	修学意欲が高いか否か。	①	②	③	④		×2		
	質問2-2	具体的な理由付けがあるか。	①	②	③	④				
	【質問3】学生生活を充実させるために努力をしていることを教えてください。		低い			高い	採点	(重要な質問は点数を2倍)	点数	
	質問3-1	努力をしていることが適切であるか。	①	②	③	④				
	質問3-2	具体的な理由付けがあるか。	①	②	③	④				
	【質問4】「社会貢献」と「生きる力」を養うためにはどう行動したいですか。		低い			高い	採点	(重要な質問は点数を2倍)	点数	
	質問4-1	「社会貢献」と「生きる力」を養うための行動計画が適切であるか	①	②	③	④				
	質問4-2	具体的な理由付けがあるか。	①	②	③	④				
	経済状況の困窮緊急性		低い			高い	採点	(重要な質問は点数を2倍)	点数	
			①	②	③	④		×3		
								書類合計点		
面接			低い			高い	採点	(重要な質問は点数を2倍)	点数	備考
	面接		①	②	③	④		×3		
								総計		

選考結果

①給付型 30名

②貸与型 6名

※不採用1名

※2	※2	※2	※2	※1.5	※1.5	※1.5	※1	※1	※1	※1	※1	※5	※5	20点	20点	50点	
「学部専攻」について、 「院専攻」に希望する 学部・専攻を教えてください。 また、その理由も ご記入ください。	「学部専攻」について、 「院専攻」に希望する 学部・専攻を教えてください。 また、その理由も ご記入ください。	「学部専攻」について、 「院専攻」に希望する 学部・専攻を教えてください。 また、その理由も ご記入ください。	「学部専攻」について、 「院専攻」に希望する 学部・専攻を教えてください。 また、その理由も ご記入ください。	あなたにとっての学生 生活の充実とはどの ようなことか。	あなたにとっての学生 生活の充実とはどの ようなことか。	あなたにとっての学生 生活の充実とはどの ようなことか。	「社会貢献」と「生き る力」を培うためには どう行動したいですか。 か。	「社会貢献」と「生き る力」を培うためには どう行動したいですか。 か。	経済状況の困窮度 い	経済状況の困窮度 い	経済状況の困窮度 い	※5	※5	20点	20点	50点	
4	3	4	4	4	4	4	3	3	3	4	27	4	4	20	20	47.5	1
4	4	4	3	4	4	4	3	3	3	4	27	3	4	15	20	45.5	2
4	4	3	3	2	3	3	4	3	3	4	25	4	4	20	20	45.25	3
3	4	3	4	3	4	3	2	4	4	1	21.5	4	4	20	20	44.25	4
3	3	3	4	2	3	3	4	3	3	4	21	4	4	20	20	43.25	5
3	3	3	4	4	4	4	1	3	3	4	21	4	4	20	20	43.25	5
3	4	3	4	4	4	4	2	4	4	3	22	3	4	15	20	43	7
3	3	3	4	4	4	4	2	4	4	4	22	3	4	15	20	42.5	8
2	3	3	4	3	3	3	1	3	3	4	18.5	4	4	20	20	42	9
3	4	3	3	3	3	3	2	4	4	2	21.5	4	4	20	20	42	9
4	4	3	3	4	4	4	1	3	3	1	24	4	3	20	15	41.5	11
3	3	3	3	3	3	3	4	2	2	4	24.5	3	4	15	20	41	12
3	4	2	4	3	3	3	3	3	3	3	20.5	3	4	15	20	41	12
3	3	3	3	2	2	2	3	2	2	4	20	4	4	20	20	40.5	14
4	3	3	4	2	2	2	3	2	2	2	23	4	4	20	20	40.25	15
4	3	3	4	2	2	2	4	3	3	4	24	3	3	15	15	39.75	16
2	3	3	3	1	1	1	2	3	3	3	15.5	4	4	20	20	39.75	16
3	3	2	3	4	4	4	4	3	3	4	24	3	3	15	15	39.5	18
2	3	2	3	2	2	2	3	2	2	4	16	4	4	20	20	39.25	19
3	2	3	2	3	3	3	3	2	2	3	21.5	4	4	20	20	38.75	20
3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	4	27	2	3	10	15	38.75	20
2	4	4	4	4	4	4	2	3	3	3	25	2	2	10	10	37	22
1	4	1	2	1	3	3	3	4	3	3	9.5	4	4	20	20	36.5	23
3	3	2	2	2	2	2	3	2	2	4	18	4	3	20	15	36	24
2	4	1	3	2	2	2	1	2	2	1	11	4	4	20	20	35.5	25
2	2	2	3	3	2	2	4	3	3	3	19	3	3	15	15	34.75	26
3	3	2	2	2	2	2	3	3	3	2	19	3	3	15	15	34.25	27
2	2	2	2	3	3	3	3	1	3	3	17.5	3	4	15	20	33.75	28
3	3	2	3	2	2	2	3	3	3	2	20	2	3	10	15	33.25	29
3	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	22.5	3	3	15	15	32.25	30
3	1	3	2	2	2	2	3	3	3	3	21	3	3	15	15	31.75	31
2	1	2	1	3	3	3	4	3	3	3	19.5	3	3	15	15	30.75	32
2	1	2	2	3	3	3	2	3	2	2	17.5	2	2	10	10	26	33
2	3	1	3	2	2	2	3	3	3	4	15	2	1	5	10	26	33
3	3	2	2	3	1	1	4	3	3	4	18.5	2	2	0	0	特選	特選
2	2	2	1	1	1	1	3	1	1	3	13.5	1	1	5	5	17.5	35
1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	4	7.5	1	1	5	5	14.5	36

受給学生の感謝の声



国際、経営、航空など多くの分野に興味があつて絞れなかったのですが、桜美林ならメジャー・マイナー制度のお陰で全て学べると思い進学しました。コロナで父親の収入が激減し、退学も考えたのですが、卒業生の方々のお陰で学業を続けるチャンスを得たので、卒業までしっかり勉強を頑張ります。

それと、社会人になったら私もオールオベリン未来ファンドに積極的に関わって、いずれは学業の継続が困難な学生のために出資をしたいと思っています。

この度は本当に有難うございました。

FILE 1

ビジネスマネジメント学群
3年

大滝 亜美さん

父が日本の飲食店で働いていたこと、中国の大学の先生が日本の企業で働いていたことから、日本で勉強したいと思って桜美林の大学院に進学を決めました。日本の大学は欧米に比べて学費が安いですが、それでもコロナによって父の勤務先が時短営業になり収入が激減。他の仕事も掛け持ちしていますが、収入は元に戻っていません。学費は父の友人に借りて払おうと思っていましたが、皆さんからご支援頂きとても助かりました。私も困っている学生を支援できるよう、卒業後も日本に残って就職をして、このファンドに協力したいと思っています。



FILE 2

大学院
2年

劉 昭吟さん

教員を目指していたのですが、顧問の薦めもあって桜美林に進学しました。キャンパスに行けないのは残念ですが、教員になるための勉強はとても刺激とやりがいを感じています。コロナで父親の収入が半分以下になったので、何とか学費を稼ごうと思いたくさんバイトに入っていました。そのため学業がおろそかになっていましたが、今回の奨学金のお陰で勉強の時間を増やすことができました。夢である教員を目指して、卒業まで学業に励みたいと思います。ありがとうございました。

FILE 3

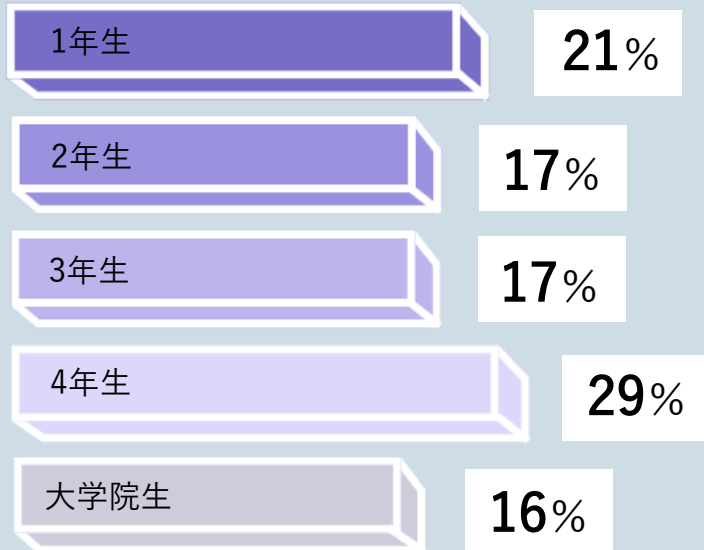
リベラルアーツ学群
1年

有岡 聖悟さん



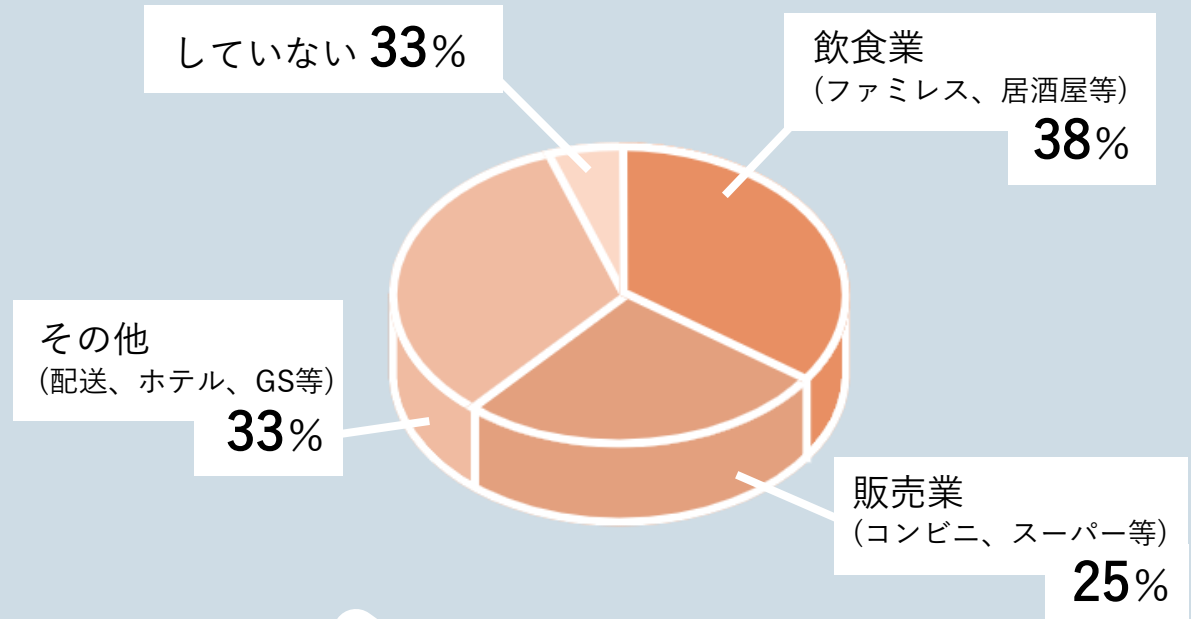
受給学生の現状について

学年の割合



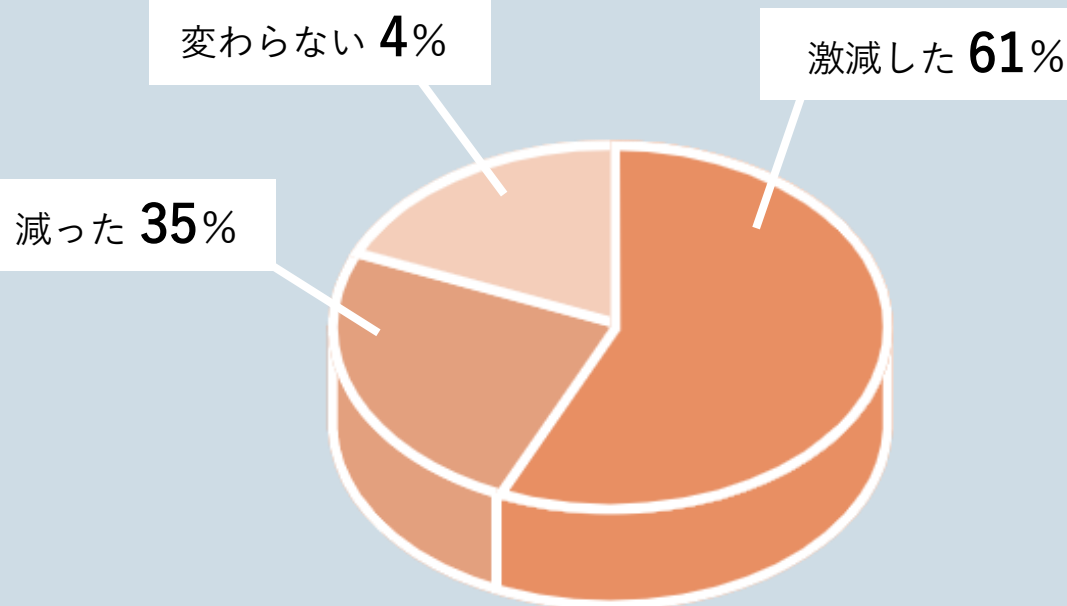
前回（春学期）は1年生の割合が6%でしたが、それは募集の段階で既に多くの1年生が学費を払い終えていたからでした。今回はその1年生の割合が、他の学年と同レベルになっています。

アルバイトはしていますか？



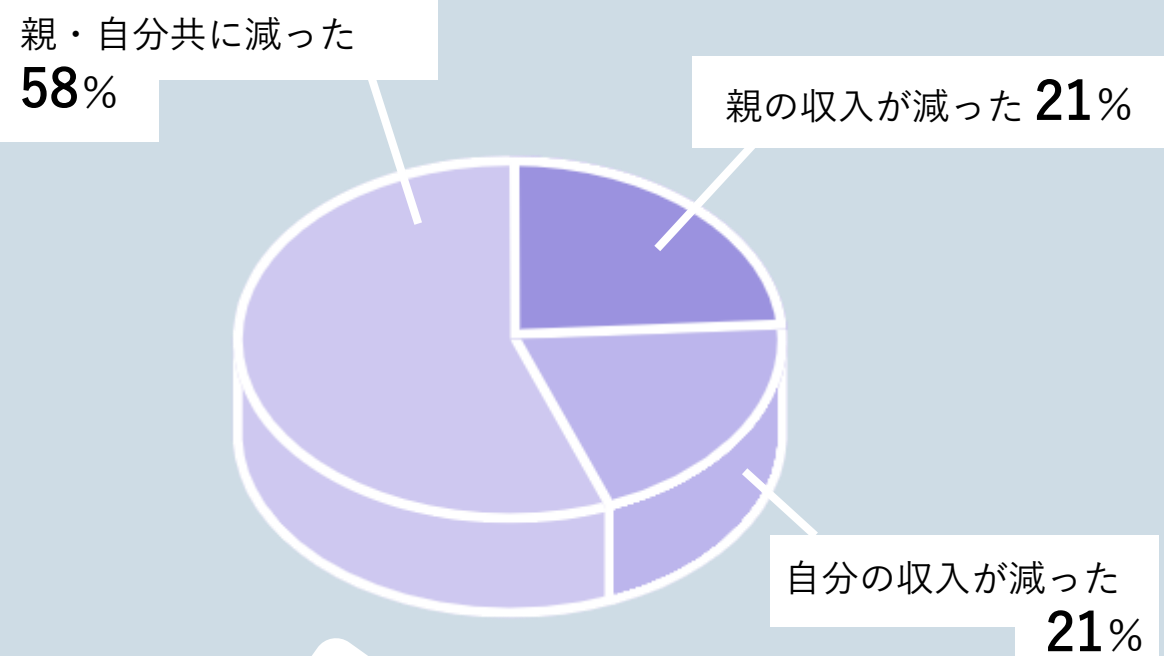
前はアルバイトをしていない学生が38%いましたが、今回はほぼ全員がしています。コロナによって激減したバイト機会が回復した半面、必要な収入を得るほどではないとも言えます。

アルバイト機会は減りましたか？



受給学生の96%が「減った」「激減した」と回答しています。コロナによるアルバイト機会の喪失は、依然として学生に大きな経済的損失を与えていると言えるでしょう。

コロナで収入は減りましたか？

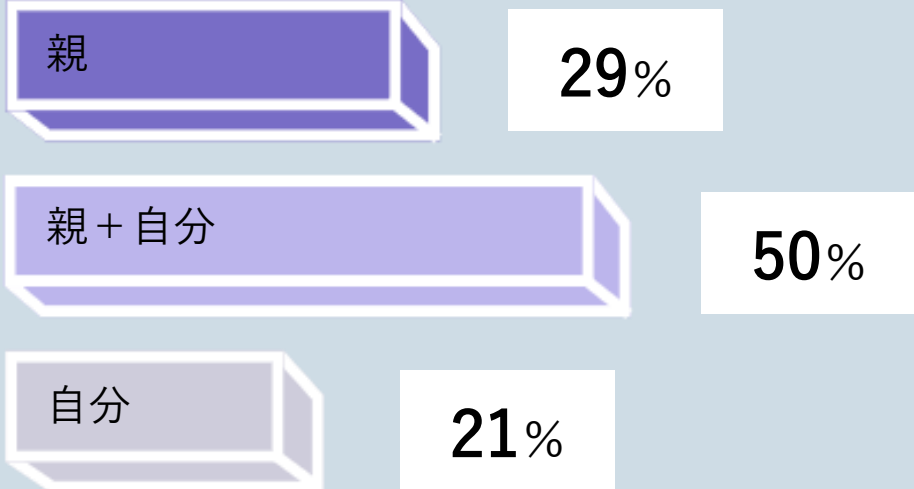


親の収入が減った学生が全体の79%を占めています。コロナ禍は1年以上に及んでいますが、家計全体への経済的悪影響は、依然として深刻であることが伺えます。

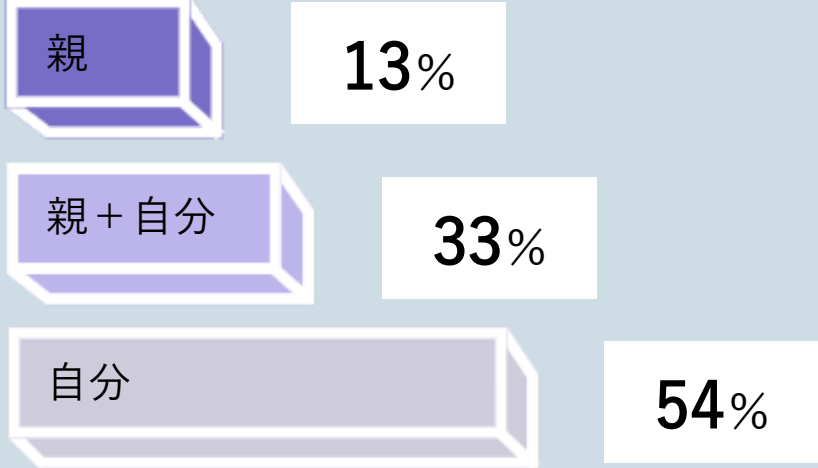
授業料や生活費は誰が負担していますか？

授業料を負担している学生が半数以上を占めており、アルバイト機会の喪失が「学びの機会喪失」に繋がりにかねない状況と言えます。また、生活費に至っては半数以上の学生が自分で負担しており、コロナ禍の影響は学生生活だけでなく、日常生活にも大きな影響を与えていることが分かります。

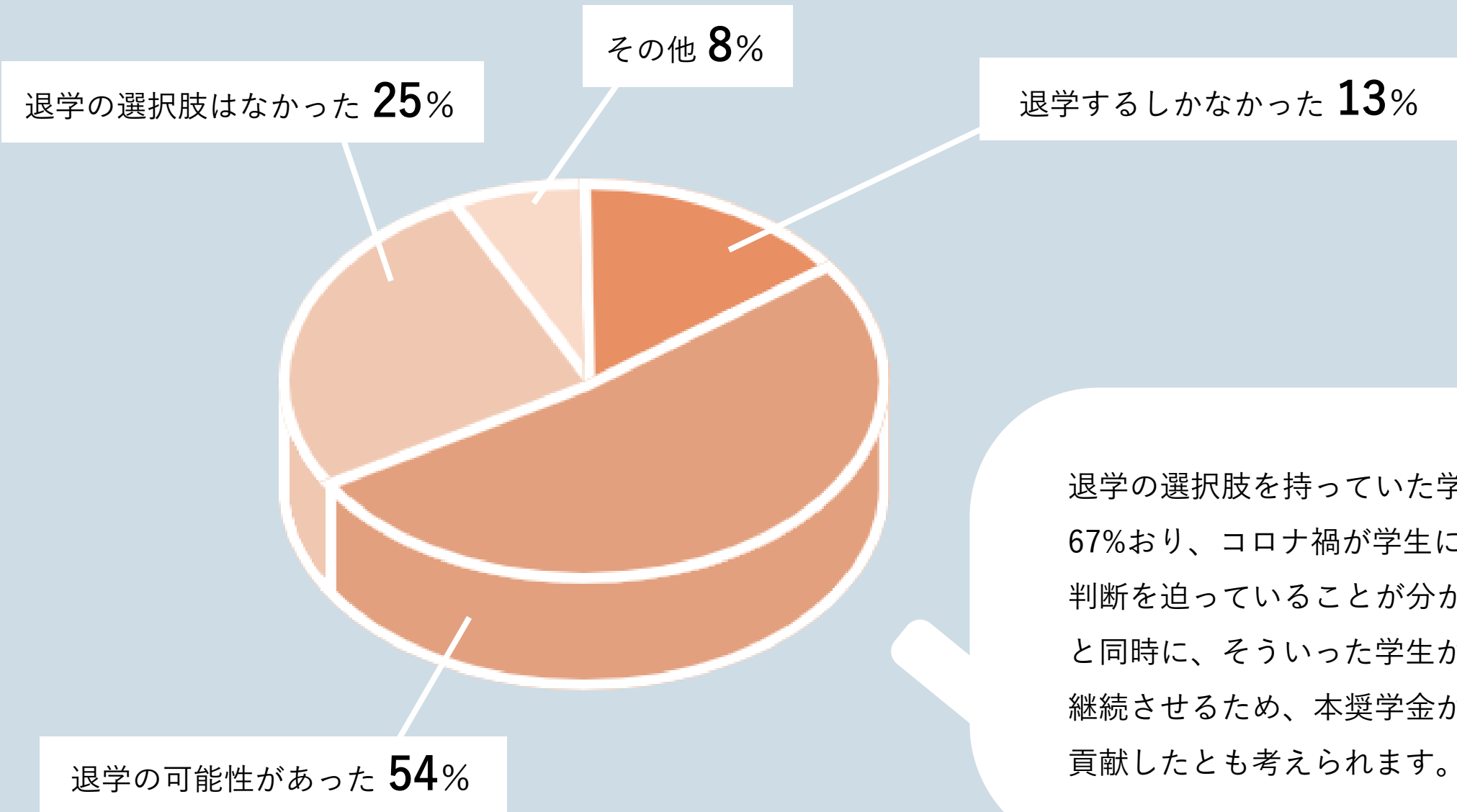
授業料



生活費



今回、受給できていなかったら？



退学の選択肢を持っていた学生が67%おり、コロナ禍が学生に申告な判断を迫っていることが分かります。と同時に、そういった学生が学業を継続させるため、本奨学金が大きく貢献したとも考えられます。

奨学金が受給できたことで

あなたの生活は変わるとおもいますか？

変わる

100%

本支援は学生の未来を支えることを目的としていますが、学生自身もこの奨学金によって未来が変わる事を期待しているのが、この回答結果からも分かります。

▶ 学生の回答を一部ご紹介します

学費を払うため、睡眠時間を削ってバイトをしており、いつか身体を壊すと思っていました。この奨学金のお陰で眠れるようになって、授業に身が入るようになりました。

4年生 1人暮らし

経済的な不安がなくなったことによって精神面にゆとりが生まれただけでなく、アルバイトを減らすことで時間的なゆとりも生まれました。お陰で学業と就活に専念ができると思います。

4年生 実家暮らし

納期までに授業料を払うことが難しかったので、退学を覚悟していましたが、この奨学金のお陰で大学で学ぶ機会を失わずに済みました。

3年生 1人暮らし

▶ 学生の回答を一部ご紹介します

私と同じように悩んでいる学生たちがいたら、卒業生のおかげでこんなチャンスもあるよって言ってあげたいです。一人で悩まず、みんなで解決する方法もあると教えてあげたいです。

4年生 友人と同居

給付、または無利子でお金を借りることができる奨学金は他のところだと条件がもっと厳しいと思うから。

3年生 1人暮らし

私と同じ状況の学生がまだいると思います。学校から支援頂いて、大学での夢を実現することができるのが素晴らしいです。大学が継続できなかつたらすごく悔しいと思うので、ぜひ勧めたいです。

2年生 1人暮らし

私のように誰にも頼ることができず苦しい思いをしている方に少しでも余裕を持って有意義な時間を過ごしてほしい。

4年生 実家暮らし

あなたと同じ境遇の友人、後輩に

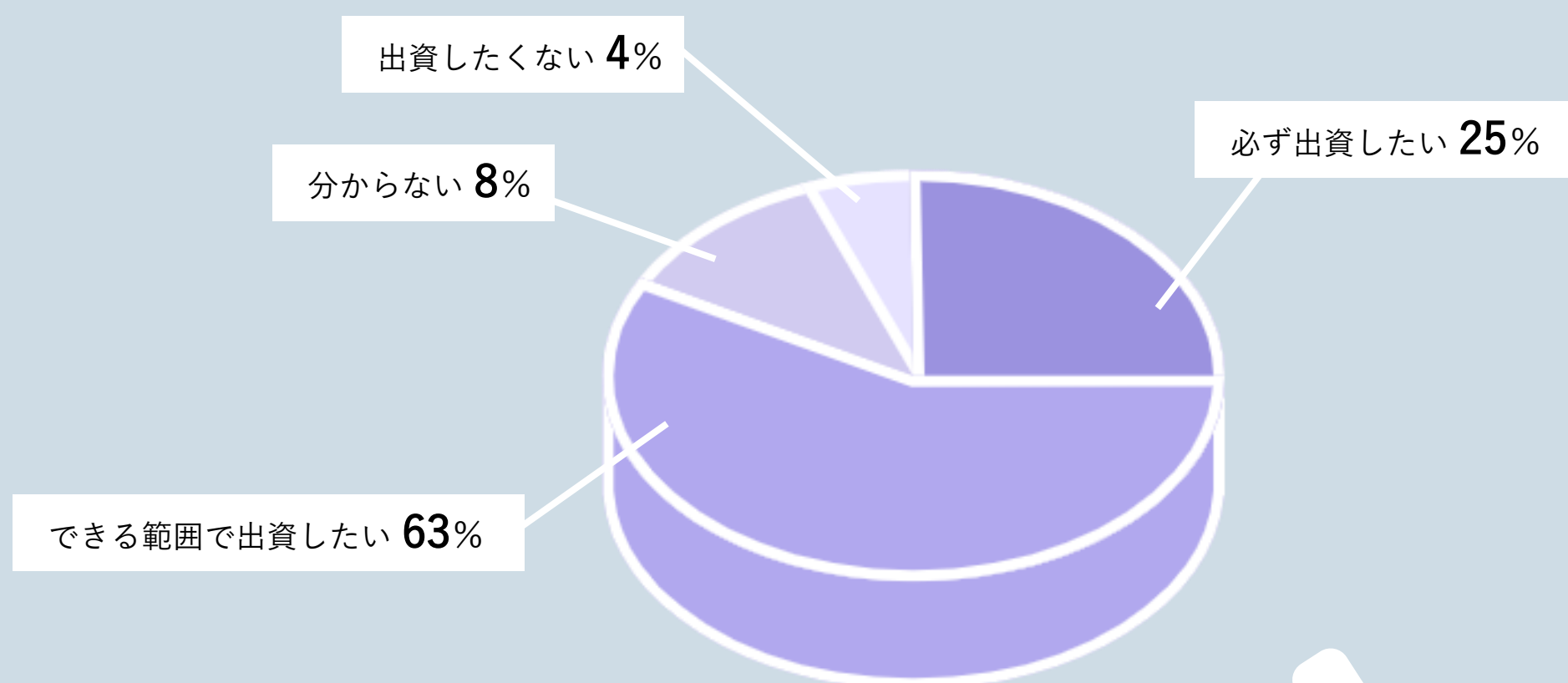
この奨学金をお勧めしたいとおもいますか？

教えたい 85%

ぜひ教えたい 17%

全員が「友達や後輩に教えたい」と答えており、本支援が学生の満足度に繋がっていることが伺えます。

将来このファンドに出資して、学生の未来に貢献したいと思いますか？



約9割の学生が将来の出資への意思を示しています。本ファンドは、①学生に対する寄付教育を行うこと。②それによって「循環型」「参加型」のファンドになることを目指していますが、この回答結果を見る限り、本ファンドの趣旨は少なからず学生に伝わっていると言えます。

▶ 学生の回答を一部ご紹介します

桜美林大学での学びに全力で取り組んでもらいたい。そして社会で学んだことを活かしてもらいたい。

4年生 実家暮らし

自分みたいな学生たちの気持ちがとてもわかりますので、手伝って、少しでも、ストレスを解消してあげたいです。学習に集中させたいです。

2年生 寮暮らし

私自身、出資して頂いた方々の寄付金によって学業継続が可能となり、本当に感謝しているため、自分と同じように困窮している学生の学ぶ道が閉ざされぬように卒業後は出資し、支援していきたいと考えるからです。

2年生 一人暮らし

自分が助けてもらい、現に助かっているため他の誰か困っている人にも助けてあげたいという気持ちがあるから。

3年生 1人暮らし

本ファンドは、学生が主体的に運営に参加する「オベリンナーによるオベリンナーのためのファンド」というコンセプトのもと運営されています。今回はその趣旨に基づき、既に奨学金を受給した学生によるボランティアを募集。選考における様々な業務に携わっていただきました。



受給学生 による 運営参加



選考の過程では応募学生の面接にも参加してもらい、受給者の立場から本ファンドの趣旨、受給して自分の学生生活がどう変わったか？これから受給する学生に期待することは？などを話してもらいました。

オールオベリン未来ファンド

All Oberlin Future Fund

参加した学生は座談会も行い、どうすれば本ファンドに多くの出資が募れるのか、そのために自分たちはどうすれば良いのかについてのディスカッションを行いました。受給学生だからこそその視点から数々のアイデアを出してくれると同時に、受給学生としてしっかり人生を歩まなければならないという使命感も感じてくれたようです。



充実した時間を
過ごせました！



学生から皆さまへの感謝の声を

一部ご紹介します



皆さんは後輩の我々にとっても大きな力、希望、チャンスを与えてくれました。私がいつも悩み、あきらめていたことに大きな希望を与えてくれました。心から感謝しております。

(4年生 寮生活)



先輩達のおかげで、安心して勉強できるため、誠にありがとうございます。大変助かりました。今後、私が社会人になったら、ぜひ先輩達を模範として、できる範囲で困ってる人に支援を提供したいと思います。

(2年生 シェアハウス)



この度は寄付して頂き、ありがとうございました。皆様の寄付金によって、私はこれからも学びたいことを学ぶことが出来ます。私も卒業したら寄付して頂いた卒業生の皆様のように出資して、困窮する未来の学生を支援したいと考えております。繰り返しになりますが、この度は本当にありがとうございました。

(3年生 一人暮らし)



この状況下でアルバイトが何ヶ月も出来なくなり学費が支払えず退学も考えましたが、今回の奨学金で支払いが楽になりました。卒業後は必死に働いて返します。ありがとうございました。

(4年生 一人暮らし)



奨学金を支給してくれた卒業生の皆さん、本当にありがとうございました。学校を続けて、私の未来を明るくする機会を与えてくれました。

(3年生 一人暮らし)



この度はご支援ありがとうございました。先輩方のおかげで残りの学生生活を有意義にできます。私も社会に出たら少しでも早く活躍して、後輩に貢献したいと考えています。

(4年生 実家暮らし)



寄付をしてご支援していただいた皆さんのお陰で勉学を続けることができました。この恩を次の世代に返せるよう、勉強を頑張って社会に貢献できる人間になりたいと思っています。この度は本当にありがとうございました。

(1年生 寮生活)



皆様のおかげで自身の将来の選択肢が広がりました。とても感謝しています。ありがとうございます。

(4年生 実家暮らし)



本奨学金の募集開始は昨年9月で、コロナの感染は比較的落ち着いている時期でしたが、応募学生は春学期に実施した第一弾奨学金よりも増えており、コロナによる経済的な悪影響は収まっていない事が分かります。一方で、第一弾実施時の春学期と同様、1人30万円を支給する奨学金は他大学での事例がなく、学生にとっては大きなインパクトのある金額であったと思われます。

そのインパクトのせいもあってか、アンケートやインタビュー内容を見る限り、本ファンドの出資者に対する感謝の念は強いことが感じられます。これは、本ファンドの目的の一つである「学生への寄付教育」の観点から、大きな効果があったと考えています。

また、今回から受給学生によるファンドへの運営参加を、ボランティアという形で開始しました。彼らに担ってもらったのは事務的な作業だけでなく、面接での応募学生へのファンドや奨学金の趣旨説明や、今後のファンド運営に対するディスカッションなど、彼ら自身がファンドの運営側になってもらうことを目指した取り組みでした。彼らはその中で今後もファンドの運営に携わりたいという意向を表明しており、奨学金の募集～支給を通じた寄付教育に一定の効果があったと考えております。こういった取り組みを地道に続けることで、本ファンドが末永く継続する事を目指して参りたいと思います。

今後についてですが、新型コロナウイルス感染症の拡大もこの春から始まるワクチンの接種等により回復に向かうと考えられており、経済状況も好転する事が予想されます。そのため、同様の支援を次の2021年度も行うかどうかは議論の余地がありますので、出資者の皆さまのご意向も伺った上で、支援策を検討して参りたいと考えております。

今回、学生の学業を継続する事ができたのも、ご出資頂いた皆様のご厚志のお陰と心より感謝申し上げます。誠に有難うございます。引き続き、本学の生徒、学生への心温まるご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

学校法人桜美林学園
総合企画部 募金室
室長 藤江 琢司

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758
042(797)9374 bokin@obirin.ac.jp



皆さまのお陰で、
彼らの笑顔を守ることができました。
本当にありがとうございました。



オールオベリン未来ファンド

All Oberlin Future Fund

Arise. Shine. Triumph.

100 Years of J. F. Oberlin School

Arise. Shine. Triumph. この句には「起き上がり（Arise）、世の光となり（Shine）、大いなる栄光の中で人々とともに喜ぶ（Triumph）」という意味が込められています。桜美林学園が100周年を迎える中で、私たち一人ひとりがこれからも「学而事人」の精神を忘れず、積極的に社会に貢献していく決意を表しています。キリスト教精神に基づく学園として、多様性を重視し、日本に、世界に、新たな価値を創造できる取り組みを続けてまいります。

学校法人桜美林学園 総合企画部 募金室

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758

042(797)9374 bokin@obirin.ac.jp